

平成27年度 木と暮らしのふれあい展

10月3日（土）・4日（日）の両日、「第35回木と暮らしのふれあい展」（主催：東京都・一般社団法人東京都木材団体連合会）が木場公園で開催され、東京事務所が出展し国有林のPRに努めました。

この催しは「森を育てたい。だから木を使おう。」をメインテーマに、都民に木とふれあえる機会を提供し、暮らしの中での木材利用を推進することを目的としています。

当日は、東京都の各木材団体等が一堂に会し、木工教室等の木とふれあう体験や木製品の展示販売、木造住宅相談、特産物の販売、アトラクション等が行われました。

今回は爆弾低気圧が過ぎ去ったあとのすばらしい天気にも恵まれ、来場者は約6万人にも達しました。

東京事務所では、小笠原諸島などの世界自然遺産のパンフレットを配布して国有林のPRに努めるとともに、もっくん（小枝のキーホルダー）や木の実のリースなどを作る人気の森林クラフト体験を行い、親子で大いに賑わいました。

関東森林管理局東京事務所



開会式(小坂林野庁業務課長祝辞)



関東森林管理局東京事務所テント



森林クラフト体験



人気の木の実のリース